

# READ ME

2000年5月

拝啓

時下時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。  
昨年末、東京大学に

「兵庫県南部地震の実被害データに基づく建物被害評価に関する研究」

と題する論文を提出し、博士（工学）の学位を授かりました。これも諸先生方をはじめ、皆様方の御指導と御支援の賜と深く感謝する次第であります。

まだまだ発展途上の内容ではありますが、ご高覧いただきたく、ここに論文をPDFファイルとして保存しました。ダウンロードは自由に出来ますので、皆様のご意見をいただければ幸いと存じます。

今後とも御指導、御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

村尾 修

〒153-8505 東京都目黒区駒場 4-6-1  
東京大学生産技術研究所 山崎研究室  
電話 03-5452-6388  
Fax 03-5452-6389  
E-mail [murao@iis.u-tokyo.ac.jp](mailto:murao@iis.u-tokyo.ac.jp)

# 「兵庫県南部地震の実被害データに基づく建物被害評価に関する研究」

## PDF ファイル構成

PDF ファイルは以下の構成となっております。

「00 - Readme」以外の 28 ファイルを番号順に並べることにより、印刷された博士論文とほぼ同様のものが完成します（ただし「21 - 付録 1」は省略されています）。

（A4 版 266 頁，合計容量：6.78MB）

- 00 - Readme (2 頁, 11KB): ファイル構成と簡単な説明
- 01 - 表紙 (1 頁, 7 KB): 博士論文表紙
- 02 - はじめに (1 頁, 12 KB)
- 03 - 論文要旨 (4 頁, 47 KB)
- 04 - 著者略歴 (1 頁, 9 KB)
- 05 - 研究業績一覧 (3 頁, 23 KB)
- 06 - 目次 (2 頁, 14 KB)
- 07 - 図目次 (5 頁, 20 KB)
- 08 - 表目次 (1 頁, 11 KB)
- 09 - タイトル (1 頁, 7 KB)
- 10 - 第 1 章 (13 頁, 64 KB): 序論
- 11 - 第 2 章 (23 頁, 424 KB): 兵庫県南部地震における建物被害調査の比較検討
- 12 - 第 3 章 (19 頁, 293 KB): 調査法が異なる場合の建物被害評価変換法
- 13 - 第 4 章 (23 頁, 665 KB): 灘区における建物被害のマクロ分析
- 14 - 第 5 章 (22 頁, 594 KB): 兵庫県南部地震における灘区の地震動分布の推定
- 15 - 第 6 章 (18 頁, 215 KB): 構造別・建築年代別を考慮した建物被害関数
- 16 - 第 7 章 (29 頁, 908 KB): 実被害データに基づく建物倒壊危険度評価法の提案
- 17 - 第 8 章 (38 頁, 1,835 KB): 防災環境都市デザインのビジョン
- 18 - 第 9 章 (5 頁, 21 KB): 結論
- 19 - 最終章表紙 (1 頁, 9 KB)
- 20 - 参考文献 (4 頁, 23 KB)
- 21 - 付録 1 (省略)(14 頁, 18 KB): 兵庫県南部地震後の各地の建物被害調査票
- 22 - 付録 2 (7 頁, 36 KB): 灘区の町丁目データ (全壊率 / PGV / 建物倒壊危険量 / 建物倒壊危険率)
- 23 - 英語 Fragility (12 頁, 191 KB): 建物被害関数に関する英語論文
- 24 - 英語 Risk (8 頁, 768 KB): 建物倒壊危険度に関する英語論文
- 25 - 英語 MUSE (6 頁, 424 KB): MUSE に関する英語論文
- 26 - 謝辞 (3 頁, 18 KB)
- 27 - MUSEpicture (1 頁 A3, 303 KB): MUSE の画像
- 28 - 裏表紙 (1 頁, 27 KB)